

特別展 日本^の風景を描く

—歌川広重から田淵俊夫まで—

Special Exhibition: *Depicting Japanese Landscapes: From Utagawa Hiroshige to Tabuchi Toshio*

2022年12月10日(土)~2023年2月26日(日)

※ 会期中、一部の作品を展示替えいたします[前期 12/10(土)–1/15(日)、後期 1/17(火)–2/26(日)]

主催：山種美術館、朝日新聞社 協賛：SMB C日興証券

四季折々の豊かな自然に恵まれた日本。人々はその姿をさまざまに表現してきました。このたび、山種美術館では日本の風景や自然を題材にした作品に焦点をあて、江戸時代から現代までの画家たちが描いた優品をご紹介します。特別展を開催いたします。

日本の風景は古くから美術の題材として描き継がれてきました。特に19世紀、江戸後期には、街道が整備され人々の旅に対する意識が増し、日本各地の宿場や名所を捉えた歌川広重の浮世絵風景画が高い人気を得ます。明治に入ると、西洋の写実的な風景画が日本にもたらされたことや、日本各地の風土への関心が高まった風潮により、目の前に広がる身近な自然が描かれはじめます。さらに昭和の戦後には、抽象的な表現や画家の心に刻まれた景色も風景画に取り入れられるようになり、日本の風景の描かれ方が多様化していきました。

本展では、宿場や名所を中心に抒情豊かな風景を表した歌川広重の《東海道五拾三次》や《近江八景》、自然とともに日常を営む人々を取材した川合玉堂の《早乙女》、送電塔の立つ農村風景という現代的な情景を描き出した田淵俊夫の《輪中の村》などをご紹介します。風景画の名手たちが描いた数々の優品とともに、日本の風景の魅力をご堪能いただければ幸いです。

*上記文中のうち、所蔵先表記のない作品はすべて山種美術館所蔵です。



歌川広重《東海道五拾三次之内 日本橋・朝之景》
1833–36(天保4–7)年頃 大判錦絵 山種美術館
(前期展示 12/10–1/15) [画像請求 No. ①]



田淵俊夫《輪中の村》
1979(昭和54)年 紙本・彩色 山種美術館
[画像請求 No. ⑬]



池大雅《東山図》18世紀(江戸時代)
紙本・墨画 山種美術館 [画像請求 No. ③]



山元春挙
《火口の水》
1925(大正14)年
絹本・彩色
山種美術館
[画像請求 No. ⑦]



菱田春草
《釣舟》
1901(明治34)年
絹本・彩色
山種美術館
[画像請求 No. ⑧]

本展のみどころ

みどころ① これぞ日本の風景画、名だたる画家の作品が大集合！

江戸時代にベストセラー化した浮世絵風景画シリーズの制作者・歌川広重、日本の豊かな自然を愛し数多く描いた川合玉堂、現在の日本画壇の第一線で活躍する田淵俊夫の作品まで、風景画の巨匠による逸品をご覧いただける、貴重な機会です！



歌川広重《近江八景之内 石山秋月》
1834(天保5)年頃 大判錦絵 山種美術館
[後期展示 1/17-2/26] [画像請求 No. ②]



川合玉堂《早乙女》
1945(昭和20)年 絹本・彩色
山種美術館 [画像請求 No. ⑨]

みどころ② 37年振りに公開する秘蔵の名品が揃います！

石田武《四季奥入瀬》の連作全4点は、作品が発表されて以降、初めて同時に展示されます。なかでも、春と夏を描いた《四季奥入瀬 春溪》と《四季奥入瀬 瑠璃》の展示は37年振りです。この他、十数年振りにお目見えする作品も多く揃う、見逃せない特別展です。

石田武《四季奥入瀬 瑠璃》
1985(昭和60)年 紙本・彩色
個人蔵 [画像請求 No. ⑪]



© Ko Ishida 2022/JAA2200121

■ 展覧会名：【特別展】日本の風景を描く —歌川広重から田淵俊夫まで—

■ 会 期：2022年12月10日(土)～2023年2月26日(日) ※ 会期中、一部展示替えあり。前期12/10(土)～1/15(日)、後期1/17(火)～2/26(日)

■ 開館時間：午前10時～午後5時 (入館は午後4時30分まで) ※今後の状況により会期・開館時間等は変更する場合がございます。

■ 休 館 日：月曜日 [1/9(月)は開館、1/10(火)は休館、12/29(木)～1/2(月)は年末年始休館]

■ 入 館 料：一般1300円、中学生以下無料 (付添者の同伴が必要です)

※障がい者手帳、被爆者健康手帳をご提示の方、およびその介助者(1名)一般 1100円

【冬の学割】大学生・高校生 500円 ※本展に限り、入館料が通常1000円のところ特別に半額となります。

※きもの特典：きものでご来館のお客様は、一般200円引きの料金となります。 ※複数の割引・特典の併用はできません。

入館日時のオンライン予約も可能です(詳細は当館Webサイトをご覧ください)。

■ 主な出品作品：約50点 ※所蔵表記のない作品はすべて山種美術館蔵。 ※○...前期展示12/10-1/15、●...後期展示1/17-2/26、無印...全期間展示

歌川広重《東海道五拾三次之内 日本橋・朝之景》○、《近江八景之内 石山秋月》●、池大雅《東山図》、日根対山《越溪秋色図》、川端玉章《海の幸図》、横山大観《春の水・秋の色》、山元春挙《火口の水》、川合玉堂《早乙女》、菱田春草《釣婦》、東山魁夷《白い壁》、山田申吾《宙》、正井和行《庭》、横山操《越路十景》のうち「蒲原落雁」、石田武《四季奥入瀬 春溪》(個人蔵)、《四季奥入瀬 瑠璃》(個人蔵)、《四季奥入瀬 秋韻》(個人蔵)、《四季奥入瀬 幻冬》(個人蔵)、近藤弘明《清夜》、田淵俊夫《輪中の村》ほか

■ 会 場：山種美術館 (〒150-0012東京都渋谷区広尾3-12-36)

■ アクセス：JR・東京メトロ日比谷線 恵比寿駅より徒歩約10分

恵比寿駅西口前より都バス(学06番 日赤医療センター前行)広尾高校前下車、徒歩1分

渋谷駅東口ターミナル54番乗り場より都バス(学03番 日赤医療センター前行)東4丁目下車、徒歩2分

■ 問い合わせ：050-5541-8600(ハローダイヤル 電話受付時間：9:00～20:00)

■ 公式 HP：<https://www.yamatane-museum.jp/>

■ 公式 SNS：

※ 出品作品および展示期間は都合により変更される場合があります。

※ 本展周知目的でない画像の利用や転載はお断りしております。

※ 本展周知で作品画像等の使用を希望される場合は、別途広報素材一覧をご参照いただくか、下記までお問い合わせください。

報道関係の方からの
本件に関する
お問合せ先

山種美術館広報事務局(ユース・プランニング センター内)／担当：和泉、平野、池袋
〒150-8551 東京都渋谷区桜丘町9-8 KN渋谷3ビル4F

TEL：03-6821-8547 FAX：03-6821-8869 E-mail：yamatan-pr@yppcpr.com